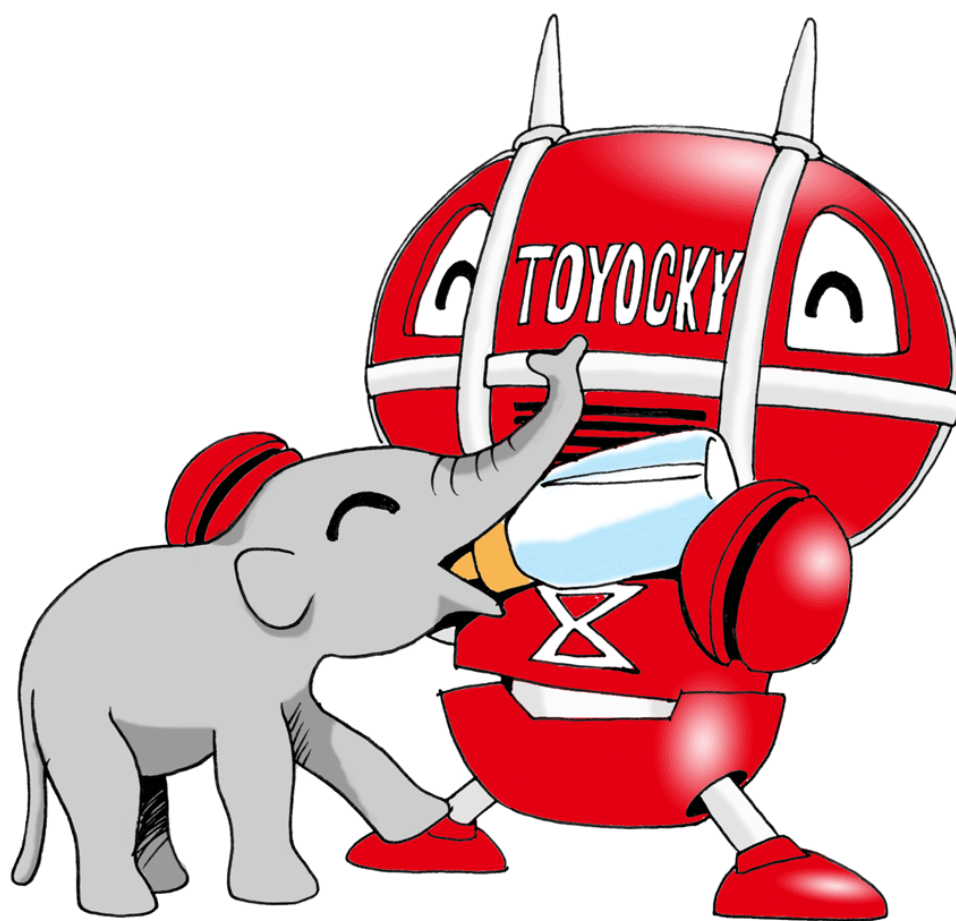


豊橋市市民協働推進補助金

平成23年度事業報告資料



豊 橋 市

目 次

補助金 の種類	団体	事業	頁
つ つ じ	つるし飾りの会	二川宿をつるし飾りで飾ろう	1
	二川茶屋	糸の町 二川宿のおもてなし	2
	日本の農業を活性化させる会	豊橋やっさいフェスタ	3
	(特)豊橋市民成年後見センター	成年後見市民フォーラム	4
	あさひ健遊会	人とのつながりのある暮らしができるまちづくり	5
	ホームスタートまんま	東海初！家庭訪問型子育て促進支援「ホームスタート」	6
	岩西おやじの会	岩西おやじ音楽祭	7
	紅太鼓	老人福祉施設和太鼓慰問	8
く す の き	中部中学校区青少年健全育成会	クリーンアップ作戦（校区浄化活動）	9
	東三河視覚障害者自立支援協会 ビギン	平成 23 年度 視覚障害者のための自立支援講座	10
	発達障害者地域自立支援の会 グローアップ	発達障害者地域生活支援事業	11
	石巻山・紅の会	僕ひとり、まず一歩！夢見る夢夫 紅葉の遊歩路を！	12
	二川小学校子ども見まもり隊	二川小学校児童の登・下校時の見まもり活動	13
	(特)東海リスクマネジメント研究会	第7回 防災フェア	14
	ストローおじさんの親子ふれあい 工作教室	ストローおじさんの親子ふれあい工 作教室	15
	ひだまりの会	子育て講座、家族参加型レクリエー ション、グループワーク推進事業	16
	豊橋市子ども会連絡協議会	キッズ ジャム in とよはし	17
	大村校区自治会	安否確認・安全の黄旗作戦	18
	龍谷太鼓	敬老を祝う会	19

補助金 の種類	団体	事業	頁
ハ ー ド	内山川ホタルを守る会	内山川ホタルの里づくり	20
	(特)手しごと屋豊橋	中型合併浄化槽の設置 NPO 法人地 域活動の拠点基盤整備事業	21
	下地豊飯通り六丁目自治会	土地改良の碑 町内憩いの場づくり	22

平成23年度市民協働推進補助事業 事業報告会参考シート

事業名等	二川をつるし飾りで飾ろう
団体名	つるし飾りの会

項 目	内 容
事業の概要 (取組みの内容)	毎月1回、二川地区市民館に会員50名が集まり「つるし飾り」を作成した。4月から5月にかけて二川宿本陣資料館で開かれる五月人形の展示に合わせて、男の子の節句にふさわしい「つるし飾り」を展示し、秋の二川地区市民館まつりには日頃の制作物を披露した。 そして会のメイン事業として「二川宿本陣まつり ひなまつり」を盛り上げるべく、一人1飾り（1飾りにオーナメントは最低50個はつけてある）以上を吊るした。「本陣ひなまつり」を本陣内だけでなく二川宿全体の「ひなまつり」になるよう市内の店先など24か所に飾った。 総事業費：60,000 円（うち補助金：50,000 円）
事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)	「二川宿本陣まつり、ひなまつり」の期間だけで1万人以上の人が見に来られた。見学者は市内はもちろん県内や近県の人もあり、また、東海道を江戸から歩いてくる人も立ち寄ってくれた。それらの人の中には「ひなまつり」を見るだけでなくまち中の展示にも目を向けられ、店に飾られたつるし飾りへの関心がまち全体へと広がりつつある。それに付随して、何軒かの軒先には花が飾られ、人をもてなす心を見てもらえるようになってきた。 また、「ひなまつり」を見に来た人の中に「つるし飾りに会」への問い合わせや見学者が多数あり、この事業の広がりを見せている。
今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)	二川宿の端から端まで飾るにはまだ程遠いが、徐々に飾っていけるように地道に取り組んでいきたい。作り手も高齢化に向かい、1つ作るにも時間がかかる。今後はもっと若い人にも働き掛け、物作りの楽しさを知らせたい。 来年度は本陣の5月の端午の節句かざり、来年2～3月のひなまつりの時だけでなく9月の重陽の節句にも参加し、二川宿といえば「つるし飾り」といわれるように努める。

平成23年度市民協働推進補助事業 事業報告会参考シート

事業名等	糸の町 二川宿のおもてなし
団体名	二川茶屋

項 目	内 容
事業の概要 (取組みの内容)	- 毎週土・日曜日に開く「二川茶屋」を東海道を歩く人の休憩所とするとともに地域の人との交流の場として東海道二川宿及び糸の町二川のPR活動として来訪者のおもてなしを行う。 - 今年度7月2日・3日には二川宿本陣資料館において開催された七夕の節句時に、協賛イベントとして織姫にちなんだ「手織り体験講座」を開催し、無料講習によるコースター作りをして完成品をお持ち帰りいただいた。材料の横糸に藍染を用い、小物ながらご好評をいただいた。 総事業費：70,400円（内補助金：50,000円）
事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)	- 二川茶屋では東は東京、西は九州からの来訪者があり、一杯のお茶のおもてなしより、大変喜ばれている。 - 二川宿本陣資料館で実施した「手織り体験講座」には50名の参加者があった。 - 今回作成したミニ手織機を障害者教育にも使ってみたいという申出があり、予想外の広がりがあった。 - 古い布や小さな布でも役立つということを知ってもらい、エコ教育にもなったと思われる。
今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)	- 手織の技術の向上のため、講師を依頼して講習会などを行っていききたい。 - 会員とボランティアの方々による二川宿おもてなし事業を、地域の人のもとより、来訪者の方々の憩いの場として「また行ってみたい。」という思い出の空間作りを目指す。 - 二川茶屋が、会員にとっても生きがい作りの場として、日々の生活の癒しや、リフレッシュできる場となることを目指す。

平成 23 年度市民協働推進補助事業 事業報告会参考シート

事業名等	豊橋やっさいフェスタ
団体名	日本の農業を活性化させる会

項 目	内 容
事業の概要 (取組みの内容)	若手農家が主体となって、こども達にもっと「食」や「農業」に関心をもってもらうことを目的としたイベント「豊橋やっさいフェスタ」を 4 月 10 日にこども未来館で実施しました。 ① こども野菜スイーツコンテストの応募作品の展示と表彰式・・・市内小学生を対象に地元野菜を使った新しい野菜スイーツのアイデアを募集。優秀なものを表彰し、そのうち 2 作品を商品化しました。 ② 野菜のプランター栽培教室 ③ 野菜ソムリエの食育講座 ④ 「やさいのうた」の演奏 ⑤ 野菜の人形紙芝居「まめたろう」の上演 ⑥ 農産物や加工品の販売 など、さまざまな企画を盛りだくさんに行いました。 総事業費：81,060 円（うち補助金：50,000 円）
事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)	震災より 1 ヶ月後の開催となりましたが、ラジオや新聞等で紹介されたこともあり、約 500 人程度の方に参加をいただきました。 特に、こども野菜スイーツコンテストについては、こども未来館近隣の 3 小学校で授業にも取り入れていただき、こども達の「食」や「農業」へ関心を持ってもらう目的がある程度達成できたと思います。結果、初めての開催にしては予想を上回る 319 枚もの応募作品が集まり、そのうち 2 作品を地元野菜スイーツ専門店「バロン」さんの協力により実際に商品化することもできました。
今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)	今回のイベントだけでは成果は限定的で、やはり、定期的に実施していくことが大切だと思いますが、この規模のイベントになると実行役員にとって準備による負担が大きすぎるので、2 年または 3 年に 1 回の開催とすることや、若干の規模縮小などを検討しています。 他にも講師を招いて若手農家の勉強会や情報交換会などの小規模な活動も行っています。

平成 23 年度市民協働推進補助事業 事業報告会参考シート

事業名等	成年後見市民フォーラム
団体名	(特) 豊橋市民成年後見センター

項 目	内 容
事業の概要 (取組みの内容)	第 1 部では、元法務官僚として成年後見関連法制定に関与された小池信行弁護士を招き、「成年後見制度の歴史と今後」をテーマに講義していただいた。 第 2 部では、地域の専門家を中心に豊橋での成年後見の育みについて討論いただいた。 総事業費：82,500 円（うち補助金：50,000 円）
事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)	豊橋において、成年後見制度に関心を持っていなかった方々に興味を持っていただくことができ、地域に制度が根付く着実な一歩となった。
今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)	当 NPO が中心となり、地域で支援を求めている人達の受け皿たり得るような研修を定期的に行っていく。

平成23年度市民協働推進補助事業 事業報告会参考シート

事業名等	人とのつながりのある暮らしができるまちづくり
団体名	あさひ健遊会

項 目	内 容
事業の概要 (取組みの内容)	平成23年5月15日に開催した「歴史にふれあうウォーキング大会」は、旭小学校から牛川遊歩公園への4.5kmでした。校区の子どもから大人まで87名の参加者とともに、中間点の青陵地区市民館でジュースを飲み、完歩者には多くの景品を渡しました。 8月7日に旭校区夏祭り納涼大会が開催され、ふれあいコーナーを開設しました。ヨーヨー風船釣りやヘリウムを入れる風船作りを行い、多くの家族達が詰めかけました。 10月25日にあいトピアにおいて、市役所安全生活課の職員による「交通安全で明るいまちづくり」と題した講習会を行いました。参加者はほとんどお年寄りで57名集まりました。 平成24年1月27日にあいトピアにおいて市役所健康増進課の職員による「高齢者のうつ病について」と題した講習会を行いました。51名のお年寄りに参加いただきました。 総事業費：52,077円（うち補助金：50,000円）
事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)	最大の成果は2年連続して多くのイベントが開催でき、参加者が昨年に比べて大幅に増えたことです。昨年は見向きもしてくれなかった校区の自治会から町自治会長が多く参加され、あさひ健遊会の認知度が大幅にアップしました。 補助金で購入したハンドマイクは高性能で、ウォーキング大会では参加者全員に歴史の説明を聞いてもらうことができました。また、チラシをたくさん作成し配布したことが参加者の増員に繋がったと思います。
今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)	イベントで多くの人を集めるには、アイデア以上に景品が必要です。補助金を続けて支援してくれればありがたいですが、今回だけでは資金繰りが不安です。 今後は23年度で事実上消滅した老人会に代わり、お年寄りの方々と料理教室や健康に関する講習会を開催する予定です。 歴史にふれあうウォーキング大会は3回目を迎え、吉田城周遊のコースを予定しています。ウォーキング大会をいつまでも続けていきたいと思っています。 町内の自治会は各組の人と人とのつながりが薄くなり、機能が低下し、自治会長や民生委員、消防団員のなり手がいません。私たちあさひ健遊会はこんな現状を打破したいです。

平成23年度市民協働推進補助事業 事業報告会参考シート

事業名等	東海初！家庭訪問型子育て支援「ホームスタート」
団体名	ホームスタートまんま

項 目	内 容
事業の概要 (取組みの内容)	①「ホームスタート」のリーフレットを4,000部作成し、広報に努め、ホームスタートの利用を促進する。(東海初のホームスタート事業の広報活動) ②オーガナイザーとボランティア(ホームビジター)のスキルアップ研修を6回開催する。 第1回 5月11日(水)10時～12時 参加者:10名 内容:ホームスタートビジターワークショップ&活動報告 講師:オーガナイザー(運営委員:長田真理子・駒中京子) 第2回 6月23日(水)10時～12時 参加者:10名 内容:保育園から見た親子関係 講師:明照保育園園長・中島章裕氏(運営委員) 第3回 7月14日(木)10時～12時 参加者:11名 内容:保育園の子育て支援を通して 講師:豊橋創造大学短期大学部・幼児教育・保育科准教授 伊藤道子氏 第4回 9月20日(火)午後1時～3時 参加者:9名 会場:豊橋市福岡校区市民館 内容:「母子の発達と支援」～相手(お母さん)の見方で自分も見えて感じて、そして味方になるために～講師:臨床心理士 福田歌織氏(運営委員) 第5回 11月18日(金)9時半～12時 参加者:6名 内容:問題や悩みのある家庭への理解 講師:中澤久子氏(池谷児童教育心理研究所・主任研究員) 第6回 12月12日(月)10時～12時 参加者:10名 内容:ホームスタートビジターワークショップ・「ビジターとしての思い・感想」 講師:オーガナイザー(運営委員:長田真理子・駒中京子) 総事業費: 61,010円 (内補助金: 50,000円)
事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)	①リーフレットで広報。保健センターに2か月に1度ほど訪問し、情報収集やリーフレットを受付に設置。豊橋市医師会に依頼し、産科・小児科の病院に設置。豊橋市保育協会へ、運営委員の中島章裕園長を通して、各保育園へ周知。豊橋市校区市民館、地区市民館、各子育て支援各所に設置。 ②4月より12月までに9家族の利用がありました。ビジターが訪問することで「話を聞いてもらえて気持ちが楽になりました!」「一緒に行動してもらうことにより前向きな気持ちになりました!」とお母さんがだんだんと元気になっていきます。 スキルアップ研修での傾聴スキル等の向上により、利用家庭へより適切な支援ができた。
今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)	①保健師さんより「気になっている家庭」についての相談も5件程受け、2件はホームスタートにつながるなど支援の幅が広がってきている。 今後、保健師さんの研修等で、ホームスタートの説明をさせていただき、きちんとホームスタートを理解してもらいたい。そして、必要な家庭にホームスタートを紹介していただきたい。 ②東三河地域の乳幼児子育て家庭へ、ホームスタートの周知及び利用促進に向け、各市への広報活動に力を入れていきたい。 ③今後も利用家庭への適切な支援に向け、スキルアップ研修を定期的に行います。

平成23年度市民協働推進補助事業 事業報告会参考シート

事業名等	岩西おやじ音楽祭
団体名	岩西おやじの会

項 目	内 容
事業の概要 (取組みの内容)	○第2回 岩西おやじ音楽祭の開催 ・日 時：平成23年11月20日（日）13:00～16:00 ・出演者：個人及び団体を合わせ9チーム（総勢97名） ※プログラムについては別紙のとおり ・参加者：約300人 総事業費： 59,856円（うち補助金：50,000円）
事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)	○校区民に対し「岩西おやじの会」の存在をPRできた。 ○男性の保護者はあまり学校に出入りする機会がなかったが、音楽祭の活動通じて先生方との交流を図ることができた。 ○おやじが気軽に学校へ足を運べるようになった。
今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)	○校区内では、まだまだ「岩西おやじの会」の存在が知れ渡っていないことから、小学校の行事に積極的に関わりながら会の存在をPRしていく必要がある。 ○新規会員を確保する必要がある。 ○今後は、夏休みに親子で楽しめるイベントを企画していきたい。

平成23年度市民協働推進補助事業 事業報告会参考シート

事業名等	老人福祉施設和太鼓慰問
団体名	紅太鼓

項 目	内 容
事業の概要 (取組みの内容)	メンバーが老人福祉施設との繋がりがあり、その施設で人々に感動を与え、定期慰問公演することにより、生きがいに寄与する。 ◎主な内容 ・老人福祉施設への定期公演 ・敬老会への参加 総事業費：67,700円（うち補助金：50,000円）
事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)	①慰問先公演 東山老人会、ホテルの郷、豊橋医療センター、ツクイ等 ②成果 障害者施設「ホテルの郷」及び豊橋医療センターからは感謝の手紙や感謝状をもらい全ての慰問先より次回の要望をいただいた。 慰問先では感動していただき、笑顔の少ない人もこの太鼓だけは笑顔を見れたとのでした。
今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)	この活動は依頼件数が増え、メンバーの日程や太鼓の借用などが課題。 今後の取組み ①太鼓の買い入れ ②早期のスケジュール調整 ③他太鼓チームへの協力要請 上記を実施し、以来の要望に応えていく

平成23年度市民協働推進補助事業 事業報告会参考シート

事業名等	クリーンアップ作戦（校区浄化活動）
団体名	中部中学校区青少年健全育成会

項 目	内 容
事業の概要 (取組みの内容)	中部中学校区内の公共施設・公園・牟呂用水を中心に浄化活動を行った。 ・豊橋駅周辺の公共施設や商店に書かれた落書きを消した。 ・公共施設や公園のトイレを清掃し、使いやすく清潔にした。 ・公園内のゴミや落ち葉を拾い、草を取り遊びやすい環境を維持した。 ・牟呂用水とその周辺を清掃し、環境美化につとめた。 総事業費：245,190円（うち補助金：100,000円）
事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)	活動を始めたころは、駅周辺には酷い落書きがいっぱいあったが、最近ではずいぶん減ってきた。 これは市民の皆様の意識の変化のあらわれだと思われる。活動中に道行く人が声をかけてくださり、この活動が市民に伝わっていることを感じる。
今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)	事業の成果は、少しずつではあるが、あらわれていると思うが、しかしまだ落書きやゴミ捨ては続いている。 これからも地道に続け、この活動が他の校区や市全体に広まり、「530 発祥の街 豊橋」の環境美化に貢献したい。

平成 23 年度市民協働推進補助事業 事業報告会参考シート

事業名等	平成 23 年度、視覚障害者のための自立支援講座
団体名	東三河視覚障害者自立支援協会 ビギン

項 目	内 容
事業の概要 (取組みの内容)	地元で点字とパソコンの入門講座を継続的に開催するとともに、白杖歩行の基礎、盲導犬の体験、視覚障害者のための生活用具紹介などの講座や研修会を企画、開催することで、視覚障害者の自立を支援します。また、視覚障害者が自身の体験に基づいた内容で視覚障害者の自立を支援することで、視覚障害への理解を深め障害者と晴眼者が共生できる社会の実現をめざします。 総事業費：220,000円（内補助金：100,000円）
事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)	定期講座のパソコン教室では、講座に必要なパソコンとアプリケーションを補助金で購入でき、新たに3名の方が受講を開始され、前年からの受講者が日本語入力をマスターした後、インターネット利用に進んでいます。 点字教室は、新たに4名の方が受講を開始され、2名の方が基礎コースを修了の予定です。 また、初めて開催した盲導犬の歩行体験、デージーや携帯電話の講習会、そして毎年継続している白杖講習会などのイベントの開催費用に補助金を活用することで、参加者も年々増えてきていて、自立の一歩のお手伝いに手ごたえを感じています。
今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)	【参加人数】 月2回の点字教室：8.9人/月、月1回のパソコン教室：5.0人/月 4/3 盲導犬体験会：55人(内視覚障害者26人) 7/24 デージー講習会(7/24)：44人(内視覚障害者20人) 9/25 白杖講習会：44人(内視覚障害者33人) 12/11 携帯電話講習会：24人(内視覚障害者16人) 今年度残りの事業として、1月21日(土曜日)に利用者の方を中心に料理教室を開き、食事をしながら、今後の希望などを聞く会を開きます。また2月19日(日曜日)にはオーデコ(額の触覚を使って目の前の情景を感じ取ることができる、視覚障害者のための歩行補助具)の体験会を開きます。 ”障害者はいつも助けてもらうもの”ではなく、ビギンのめざす、「視覚障害者が自身の体験に基づいた内容で視覚障害者の自立を支援する。」を今後も着実に実行していきたいと思ひます。

平成 23 年度市民協働推進補助事業 事業報告会参考シート

事業名等	発達障害者地域生活支援事業
団体名	発達障害者地域自立支援の会グローアップ

項 目	内 容								
事業の概要 (取組みの内容)	研修会：ライフプランニング平成23年8月14日（日） スキルトレーニング平成23年12月18日（日） アンバサダー事業： <table> <tr> <td>5月 豊橋</td><td>6月 豊川</td></tr> <tr> <td>7月 豊橋</td><td>9月 蒲郡</td></tr> <tr> <td>10月 豊橋</td><td>11月 豊川</td></tr> <tr> <td>1月 豊橋</td><td>2月 蒲郡 ←予定</td></tr> </table> 総事業費：205,000円（内補助金：100,000円）	5月 豊橋	6月 豊川	7月 豊橋	9月 蒲郡	10月 豊橋	11月 豊川	1月 豊橋	2月 蒲郡 ←予定
5月 豊橋	6月 豊川								
7月 豊橋	9月 蒲郡								
10月 豊橋	11月 豊川								
1月 豊橋	2月 蒲郡 ←予定								
事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)	研修会：生活面全般についての実際の経験を必要とする発達障害者へのトレーニングはとても有効です。 アンバサダー事業：豊橋地区、豊川地区、蒲郡地区での開催ができ、多くの方に参加をしていただくことができました。同じ悩みをもつものが話し合うことで、発達障害者への支援の在り方を確認し合えたと思います。								
今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)	研修会：他の支援団体との交流を深め、多くの人たちと関わりを持つようにしていきたいと思っています。 アンバサダー事業：毎年複数回開催しているので、参加者も増えてきていますが、まだまだニーズにこたえるだけの力を持っていません。もっと宣伝ができればと思います。								

平成 23 年度市民協働推進補助事業 事業報告会参考シート

事業名等	僕ひとり、まず一步！ 夢見る夢夫 紅葉の遊歩路を！
団体名	石巻山・紅の会

項 目	内 容
事業の概要 (取組みの内容)	1 (独)水資源機構の土地と民有地の除草作業。雑木林の伐採作業、掘削した石などを一部集積する。 2 除草後はモミジを植樹する。23年度はモミジ20本植樹。 3 渚水距離 200m 用のホース巻取器を廃品により自家作製し渚水作業。 4 三ツ口池周辺の道路側溝の清掃作業。 5 石巻校区自治会の「石巻山・三ツ口池クリーン作戦」の支援事業。 総事業費：155,012円（うち補助金：75,000円）
事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)	1 23年度対象地は雑木が無くなり植樹完了したが、会員の重機が小さく整地は完成しなかった。しかし23年度の作業範囲2000㎡が広場となり顕在化した。 2 石巻校区自治会の記念植樹8本の植樹地を造成する。 3 (独)水資源機構より140mの施設管理道路の舗装がなされた。会の活動が容易になり水資源機構の協力が周囲の景観を引き立てた。 4 会員が3名増加し17名となる。(平成24年4月現在) 5 24年1月には公園緑地課より三ツ口池苗圃の活用について問い合わせがあった。
今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)	1 23年度の整地範囲2000㎡に加え隣接地1300㎡を重機を使い整備する。 2 継続的活動で三ツ口池周遊のモミジの散策路を形成し、三ツ口池の湖水景観の創造活動を進める。 3 22、23年度の植樹の渚水作業と除草で会員の労働負担が増すため、協力者の増員のため24年度の重機作業(5月15～22日)は校区回覧し、一般公開作業とし同時に会員募集を行う。(独)水資源機構の現地確認を終え当日の協力も頂ける。 4 24年度4月9日に公園緑地課より自治会に三ツ口池苗圃の公園活用について連絡がある。今後は自治会を主軸と位置づけ「石巻山・紅の会」は支援活動を継続する。 5 24年度4月17日に公園緑地課へ三ツ口池苗圃活用の公園イメージ図を提出した。

平成 23 年度市民協働推進補助事業 事業報告会参考シート

事業名等	二川小学校児童の登・下校時の見まもり活動
団体名	二川小学校子ども見まもり隊

項 目	内 容
事業の概要 (取組みの内容)	これまでの取組 ・ 平成 17 年に 30 名で発足し、平成 22 年 45 名に体制強化 ・ 主な活動 (1) 児童の登下校時の見守り活動 (2) 青パト (3) 防犯実践講座（年 1 回：市安全生活課） 新たな活動（市民協働推進補助事業） ・ 学校環境美化を実施しながら隊員相互の連帯感を養う ・ 実績 5 月 30 日、8 月 20 日の 530 活動に隊員 30 名で参加 総事業費：60,000 円（うち補助金：30,000 円）
事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)	・ 隊員相互の情報交換、顔合わせもできて連帯感の強化に役立った。 ・ 校庭の美化が進んだと同時に先生方、PTA 役員、父兄の方、お孫さんのような児童にもふれあうことができた。
今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)	市民協働補助事業として行った「530 活動」を二川小学校子ども見まもり隊の年間活動のひとつの柱として継続させていく。 活動の 3 本柱 1. 登下校時の見守り活動 2. 青パト活動 3. 530 活動への参加

平成23年度市民協働推進補助事業 事業報告会参考シート

事業名等	第7回防災フェア
団体名	(特)東海リスクマネジメント研究会

項 目	内 容
事業の概要 (取組みの内容)	平成24年3月9日(金)～10日(土)の2日間に亘りイベントを開催しました。東日本大震災の1年目に当たり、非常に多くの方々の関心を集め開催しました。 開催内容 ◆講演(7テーマで実施) ・特に東日本大震災で被災した企業経営者の講演を目玉に実施。 - 揺れが始まる16秒前に「緊急地震速報」が工場内に流れ、死亡・ケガなし。(工場の設備は倒壊) ◆展示(防災用品) ・企業・家庭で準備する機材の展示 ◆相談 ・BCP 財務の相談 ◆体験 ・AED 総事業費：693,093円(うち補助金：300,000円)
事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)	◆企業のBCP(事業継続計画)取組みの意識付けが進んだ。 ◆BCP導入の参考になった。(アンケートより) ◆対策の具体的な質問・相談が出ている。 ・安否確認システムの導入 ・緊急地震速報の導入 ・地震保険 ・サーバールームの免震 ・発電機
今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)	私達の地域は、3連動(東海・東南海・南海)又は5連動(東海・東南海・南海・日向灘沖・海溝軸)の地震が予測されており、地域の存亡をかけて、この対策が必要と考えております。 今回のイベント(第7回防災フェア)は豊橋市及び豊橋商工会議所の協力をいただき実施することができました。 回を重ねるごとに、参加者のレベル(関心ごと)があがっていることを痛感しており、私たち主催者もよりレベルアップしたイベントを企画しなければと思っております。 なお、時期「第8回 防災フェア」に向けて、今から準備したいと考えます。 皆様のご協力をお願いします。

平成23年度市民協働推進補助事業 事業報告会参考シート

事業名等	ストローおじさんの親子ふれあい工作教室
団体名	ストローおじさんの親子ふれあい工作教室

項 目	内 容
事業の概要 (取組みの内容)	物作りの楽しさを伝え、日常のゴミのリサイクルの可能性を考える機会を提供する。 普段不要と思っている物に対して知恵を働かせればこんなものができるということを教え、親子の絆を深める良い機会となる。 教室では物作りはもちろん、あいさつや感謝する気持ちを教えている。 総事業費：413,591 円（うち補助金：200,000 円）
事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)	当教室参加者は、挨拶がよくなるようになったり、物を粗末にしなくなった。参加した子供たちがそれぞれ思い思いの物を持って来て「これで何かできないか」と相談しに来てくれるようになり、大変喜ばしいことです。
今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)	この事業を通じて多くの親子がコミュニケーションを図り、子どもを通じて親たちが仲良くなることが出来ました。そこから輪と和が広がっていくことを望んでいます。

平成23年度市民協働推進補助事業 事業報告会参考シート

事業名等	子育て講座 家族参加型レクリエーション グループワーク推進事業
団体名	ひだまりの会

項 目	内 容
事業の概要 (取組みの内容)	乳幼児期の子供をもつお母さん中心に、家庭教育講座を託児付きにて毎月開催。 参加者から毎回アンケートをとり、会員話し合いにて、年間スケジュール・講演会テーマを決め、1年間に4人の講師に依頼。 講演会は1.5時間、半分は講師のお話、半分は家庭教育の勉強をした方を司会として、お母さんたちを数人のグループに分けた話し合いの時間を設けた形式。後半の講演会においては、子育て悩み相談という形で講師への相談時間を設けた。 講演会は母親中心のため、父親が参加できる家族レクリエーションを今年は4回開催。 前半は託児付きで夫婦で家庭教育について学び、後半はリトミック・パン作りを家族で楽しむ。 総事業費：406,032円（うち補助金：203,000円）
事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)	目に見える結果として表れにくい家庭教育。 事業の成果として、講演会参加者の方々の感想をいくつか掲載しておきます。 ・客観的に感情を捉えコントロールして、ゆとりを持って子育てできるといいなと思いました。 ・いつも毎回子育てのリセットができて助かります。 ・自分を見直すきっかけになりました。 ・怒りのコントロールという、本当に身近なテーマで今後の育児や生活に活かしていきたい。怒れるときに発する言葉の前に、一呼吸おく訓練次第で、怒らなくてすむこともありそうな気がしました。
今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)	講演会に来られる方は、ほぼ同じ方が多く、来年度も開催してほしいとの要望も多い。 家庭教育の勉強は今後も必ず求められる事業だと思う。 しかし、小さなお子さんを託児に預けての参加は自己負担金が重く、参加率も悪くなることが考えられる。 皆への意見等を踏まえながら参加費を決め、このような事業が継続していけるよう、努めていかなければと思う。

平成23年度市民協働推進補助事業 事業報告会参考シート

事業名等	豊橋市子ども会連絡協議会
団体名	キッズ ジャム in とよはし

項 目	内 容
事業の概要 (取組みの内容)	豊橋市の全ての子ども達の健全な成長を願い、また今後の子ども会活動のより一層の活性化を目的に始められた事業です。 時代に合った子ども会活動と子ども会の理念である「子どもの手による子ども会活動！」を実践するとともに、活動を通して地域の人たちとのコミュニケーションやふれあいをより強くし、また、他校区の子ども達との交流も図り人間関係を学びます。 総事業費： 1,487,850 円 (うち補助金：300,000 円)
事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)	前日からの雨で豊橋球場で行うことはできなくなりましたが、今年度は市子連設立60周年の記念イベントでしたので、会場を青少年センターに移して、サッカーボールを自在に扱う「球舞」と長縄を2本使ってダンスとジャンプを見せる「J-TRAP」のステージと豊橋ものしり〇×クイズを行いました。 雨の中、親子や地域の人たちが沢山集まり、演技に魅了されたり、子どもも大人もリフティングや長縄に挑戦したりと楽しい時間を過ごしていました。 今年は各校区で子どもたちが集まって、どんな遊びにしようか？など話し合い準備を進めてきたのに当日運営出来なかったことが残念ですが企画段階から子どもたちを参画させることにより、事業の楽しさや難しさを学ばせ、彼らの自主性を伸ばすことができ来年度にも繋がることだと思います。
今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)	この事業は市子連の一大イベントとして、子ども会関係者や地域の人々にも少しずつ周知されてきました。 今後は雨天も想定し予備日も設け、多くの人たちが参加できる会場として、来年度は豊橋総合動植物公園を予定しています。 公園のイベントとタイアップして多くの人々と子ども会が繋がり、子ども達が企画・運営することで創意工夫、協調性、連帯感、責任感を養い仲間と共に成長することを期待し、子ども達の育成に努めていきたい。

平成23年度市民協働推進補助事業 事業報告会参考シート

事業名等	安否確認・安全の黄旗作戦
団体名	大村校区自治会

項 目	内 容
事業の概要 (取組みの内容)	大村校区においては、標高が低く地盤が弱いとされており、豊橋市地震防災計画では、東海・東南海連動地震（震度6強）の推定予測被害が建物の全壊棟数が11.2%となっている。そのために東海・東南海連動地震を想定し、各世帯に黄旗を配布し、震度6強以上の揺れの場合に世帯員全員の安全が確認できたら黄旗を掲げることとする。黄旗が掲げてない世帯においては、安否確認ができてないものとして、校区自主防災組織を動かし救助に当たるとするものである。 11月13日（日）に校区自主防災訓練を実施する中で、前日の夜、当日の朝訓練として黄旗の掲示を呼びかけ、安全の黄旗作戦の住民意識の浸透を図った。 総事業費：602,395円（内補助金：300,000円）
事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)	自主防災訓練時の黄旗の掲示率は87%と高いものとなった。そして、自主防災訓練への参加は自主的参加としたものの、450名の参加者があった。これは近い将来に起こるとされている東海・東南海・南海3連動地震に関する意識の高さを示すものと思われる。そして、黄旗をとおして家族だけでなく隣近所への連帯意識も確認できた。 また、校区内の保育園、小学校、老人保健施設にも黄旗作戦に参加を依頼する中で、老人保健施設から発災の時に地元の住民の避難者受け入れを承諾してもらうなど地域ぐるみの防災意識が高まった。
今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)	来年度以降も継続して防災訓練を実施する予定であるが、黄旗の保管を冷蔵庫内という取扱要領を徹底させることが重要だと考えている。今回は、自治会未加入世帯（特に賃貸アパート世帯）については配布ができてない。この黄旗作戦を説明し自治会への加入促進にも生かしていきたい。さらに、新しく転入する世帯に対して黄旗作戦を浸透させて、校区民の安全確保と大地震の被害を最小限に留めたい。 来年度以降は、安全が確認できた後、避難が必要であると想定して新しい課題の津波対策も踏まえた訓練とし、結の絆が深い大村校区の強みを生かして予測される地震に備えていきたい。

平成 23 年度市民協働推進補助事業 事業報告会参考シート

事業名等	敬老を祝う会
団体名	龍谷太鼓

項 目	内 容
事業の概要 (取組みの内容)	太鼓の感動をボランティア活動に役立てる。 主な活動 ・老人福祉施設慰問太鼓演奏 ・地域老人クラブ敬老会での太鼓演奏 内容 ・民謡太鼓、演歌太鼓、創作太鼓の演奏 ・太鼓体験コーナー etc 総事業費：146,017円（うち補助金：73,000円）
事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)	王寿園、ツクイデイサービス、東赤沢敬老会、松島町敬老会に慰問し以下の要望がありました。 ・すべての会より次回の要望がありました。 ・太鼓とふれ合う時間を増やしてほしい。 ・回数を増やしてほしい。
今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)	課題 ・要望に対して出来るだけ応える様に進めるが、太鼓の数に限りがあるので最も依頼が集中する敬老の日は応えられない。 今後の取組み ・敬老の日の前後の日に分けて出来るだけ多くの施設を慰問したい。 ・補助金で古い太鼓を再利用しましたが、未だ不足しているので少しずつ増やしていきたいと思っています。

平成23年度市民協働推進補助事業 事業報告会参考シート

事業名等	内山川ホタルの里づくり
団体名	内山川ホタルを守る会

項 目	内 容
事業の概要 (取組みの内容)	内山川はホタルに配慮したホタルブロックという穴あきブロックで護岸を築いていますが、急峻なためにコンクリートの落差工というコンクリートの構造物が多くあります。そのコンクリートによって多くの生き物の移動に障害となっています。 そこで、森下橋下流の落差工と階段部分のコンクリート壁面に溶岩の付いたボードを張り付ける作業を行いました。 作 業 日：平成23年12月4日（日）午前9時から午後3時まで 参加人員：会員27名、NPO法人グラウンドワーク東海2名 総事業費：220,500円（うち補助金：189,000円）
事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)	溶岩は多孔質なため、小さな孔がたくさんあり、その孔にコケや小さな植物が生えてきます。既に、作業完了した場所ではコケや小さな植物が生え、ゲンジボタルも増えて、昨年はピーク時に約4,000匹が舞いました。 また、コケが生えることで、二酸化炭素の吸収も行われ、コケは杉やヒノキの10倍も吸収することができるといわれています。 この作業によって地球温暖化防止にも役立っています。 今回の作業で、13か所ある落差工のうち、5か所と階段部分12か所のうち、6か所において溶岩ボードの張り付けが終わりました。
今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)	次年度以降は市民協働推進補助事業を離れて、他機関の補助制度を活用しながら、引き続き階段工のコンクリートの壁面に溶岩ボードの張り付け作業を行うとともに、内山川と朝倉川との間にある田んぼの排水路に、溶岩ボードの張り付けを行っていく予定です。 内山川の活動が各地域に広がり、地域住民による環境改善活動が活発になるように情報の発信を行っていきます。

平成 23 年度市民協働推進補助事業 事業報告会参考シート

事業名等	中型合併浄化槽の設置 NPO法人地域活動の拠点基盤整備事業
団体名	特定非営利活動法人手しごと屋豊橋

項 目	内 容
事業の概要 (取組みの内容)	特定非営利活動法人手しごと屋豊橋は、2006年12月に法人化し、6年の実績があるボランティア団体です。3年前から大崎町に古い軒家を借り、ここを拠点とした「居場所づくり」や「仲間づくり」、「生きがいつくり」などの活動を行ってきましたが、都市計画法の制約があり、自主財源を得るような事業展開には至りませんでした。 そんな状況を解決するために老津町に新たな拠点を確保することができました。しかし、住宅用から団体用には用途変更をする必要があり、そのためには住宅用単独浄化槽から中型合併浄化槽への変換が必要で、今回市民協働推進補助金で中型合併浄化槽を整備しました。 総事業費：2,110,000円（内補助金：850,000円）
事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)	特定非営利活動法人としての基盤整備ができ、活動のさらなる充実、発展に繋がっています。
今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)	特定非営利活動法人の活動範囲が広がり、自由事業展開の可能性が生じ、特定非営利活動法人の継続性も生まれ、地域活動を積極的に展開していこうと考えています。

平成 23 年度市民協働推進補助事業 事業報告会参考シート

事業名等	土地改良の碑 町内憩いの場づくり
団体名	下地豊飯通り六丁目自治会

項 目	内 容
事業の概要 (取組みの内容)	永年に渡り放置状態が続き荒れ果てかつ、危険な状態にあり、これを住民の手により、より安全に利用し、活用すると共にお年寄りや子供の憩いの場としました、安心して安全な場所としたい。ブロック塀を除去し見通しを良くし、足元の石を取り砂利で整備する。子供やお年寄りが休息できるベンチやテーブルを設置し、太陽光などを利用した夜間照明設備の設置。 総事業費：982,000円（うち補助金：835,000円）
事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)	整地し、入りやすくなり足元も安定しました。テーブルとベンチの設置、アメリカ製で屋外で使えるものを使用しました。 夜間も照明がほんのりとあり、太陽光発電のLED照明なので電気代もかかりません。見た目もきれいになり、町内の方やここに訪れた人が使ってもらえる様になりました。
今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)	今回市民協働推進補助金をいただいて「親しみ愛される集いの場、安心して安全な憩いの場、見た目にも癒される場」となるよう改良を行ないました。ブロック塀が古く色も悪くよごれて見えるので、白いペンキを塗って、その上に子どもたちに手伝ってもらって絵を描きたい。基礎もなおして安全にする。 プランターを使い花を植えて明るい雰囲気づくりに努め、清掃活動と共にお花作りを始めたいと思っています。



ええじゃないか豊橋



豊橋市 文化市民部 市民協働推進課

〒440-8501

豊橋市今橋町1番地(西館4階)

TEL : 0532-51-2483

FAX : 0532-56-5128

MAIL : shiminkyodo@city.toyohashi.lg.jp